

# 日本自然保護協会 2008(平成20)年度 収支予算書

(平成20年3月12日 評議員会同意 / 同27日 理事会議決)

## 一般会計収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

財団法人 日本自然保護協会

(単位:円)

科 目	今年度予算	前年度予算	増減 -	備 考
事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
基本財産運用収入	2,800,000	2,600,000	200,000	
特定資産運用収入	800,000	200,000	600,000	
会費収入	93,450,000	94,400,000	-950,000	注1.
普通会費収入	74,050,000	75,500,000	-1,450,000	
団体会費収入	10,000,000	9,600,000	400,000	
賛助会費収入	9,400,000	9,300,000	100,000	
寄付金収入	51,570,000	57,100,000	-5,530,000	注2.
一般寄付金収入	17,620,000	26,300,000	-8,680,000	
自然保護寄付金収入	33,950,000	30,800,000	3,150,000	
事業収入	144,780,000	141,478,402	3,301,598	
資料販売等事業収入	12,430,000	17,200,000	-4,770,000	
セミナー等事業収入	27,150,000	26,200,000	950,000	
受託事業収入	105,200,000	98,078,402	7,121,598	注3.
助成金収入	10,300,000	29,940,050	-19,640,050	注4.
自然保護助成基金助成金収入	4,000,000	5,500,000	-1,500,000	
その他助成金収入	6,300,000	24,440,050	-18,140,050	
雑収入	150,000	100,000	50,000	
受取利息等	150,000	100,000	50,000	
事業活動収入合計	303,850,000	325,818,452	-21,968,452	
2.事業活動支出				
事業費支出	298,800,000	294,648,452	4,151,548	注5.
保護プロジェクト事業費	40,790,000	46,760,050	-5,970,050	注4.注6.
保全研究事業費	41,060,000	39,570,000	1,490,000	注4.注6.
編集事業費	43,900,000	42,350,000	1,550,000	注6.
教育普及事業費	41,200,000	37,580,000	3,620,000	注6.
広報企画事業費	12,550,000	0	12,550,000	
会員事業費	14,100,000	30,310,000	-16,210,000	
受託事業費	105,200,000	98,078,402	7,121,598	注3.
管理費支出	51,200,000	45,456,598	5,743,402	注3.
給与手当	28,730,000	27,170,000	1,560,000	注6.
福利厚生費	3,610,000	2,760,000	850,000	
旅費交通費	920,000	1,140,000	-220,000	
研修費	300,000	300,000	0	
会議費	900,000	1,300,000	-400,000	
通信運搬費	300,000	300,000	0	
消耗品・什器備品費	500,000	350,000	150,000	
印刷製本費	200,000	50,000	150,000	
光熱水道費	200,000	100,000	100,000	

賃借料	3,140,000	3,186,598	-46,598	
租税公課	4,500,000	3,600,000	900,000	
負担金支出	550,000	500,000	50,000	
諸謝金	1,500,000	1,500,000	0	
保険料	200,000	150,000	50,000	
雑費	650,000	650,000	0	
基盤整備費	5,000,000	2,400,000	2,600,000	注6.
事業活動支出計	350,000,000	340,105,050	9,894,950	
事業活動収支差額	-46,150,000	-14,286,598	-31,863,402	
投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
基本財産取崩収入	145,000,000	80,000,000	65,000,000	
投資有価証券償還収入	145,000,000	80,000,000	65,000,000	注7.
特定資産取崩収入	51,650,000	25,300,000	26,350,000	注6.
特定使途寄付積立資産取崩収入	4,870,000	0	4,870,000	
事業実施積立資産取崩収入	23,980,000	8,400,000	15,580,000	
運営基盤整備積立資産取崩収入	22,800,000	16,900,000	5,900,000	
投資有価証券償還収入	52,000,000	8,000,000	44,000,000	注8.
退職給付引当資産	20,000,000	8,000,000	12,000,000	
運営基盤整備積立資産	25,000,000	0	25,000,000	
その他固定資産	7,000,000	0	7,000,000	
投資活動収入合計	248,650,000	113,300,000	135,350,000	
2.投資活動支出				
基本財産取得支出	145,000,000	80,000,000	65,000,000	
投資有価証券購入支出	145,000,000	80,000,000	65,000,000	注7.
特定資産取得支出	5,000,000	7,870,560	-2,870,560	
特定使途寄付積立支出	0	4,870,560	-4,870,560	
退職給付引当積立支出	5,000,000	3,000,000	2,000,000	注6.
投資有価証券購入支出	52,000,000	8,000,000	44,000,000	注8.
退職給付引当資産	20,000,000	8,000,000	12,000,000	
運営基盤整備積立資産	25,000,000	0	25,000,000	
その他固定資産	7,000,000	0	7,000,000	
投資活動支出合計	202,000,000	95,870,560	106,129,440	
投資活動収支差額	46,650,000	17,429,440	29,220,560	
財務活動収支の部				
1.財務活動収入				
財務活動収入合計	0	0	0	
2.財務活動支出				
財務活動支出合計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	500,000	500,000	0	
当期収支差額	0	2,642,842	-2,642,842	
前期繰越収支差額	180,198,936	177,556,094	2,642,842	
次期繰越収支差額	180,198,936	180,198,936	0	

「前年度予算」欄および今年度予算の「前期繰越収支差額」欄には、平成20年2月27日の臨時理事会において議決された平成19年度補正予算の金額を示してあります。

注1. 「会費収入」に関して、厳しい経済状況により依然目標の達成が難しい中、前年度の収入実績をほぼ維持しつつ、入会目標の堅実な積み上げを行ったが、一方、継続率が悪い会員獲得の経費を見直したため、前年度比95万円減の目標額を計上しました。

注2. 「寄付金収入」に関して、昨年度に計上された遺贈を除いたところで、ここ数年の収入実績を維持しつつ、各業務に対する協賛金・募金寄付への幅広い協力依頼等を行って、本年は前年度比553万円減の目標額を計上しました。

注3. 受託事業に関して、以下の8業務で1億520万円の応札等を計画しており、かかる予算を「受託事業収入」および「受託事業費」に計上しています。なお、当該事業にかかる管理費の「受託事業費」への計上に伴い、「管理費支出」の減少が見込まれます。

	事業	仮業務名	予定額
1	保護	「赤谷の森」生物多様性復元研究事業	28,000,000
2		小笠原諸島・南島モニタリング調査	10,000,000
3		尾瀬・保全管理	6,000,000
4	研究	屋久島・世界遺産地域モニタリング調査	9,000,000
5		綾川上流照葉樹林森林環境調査	2,500,000
6		重要生態系監視地域モニタリング推進事業・里地調査	45,000,000
7		国際生物多様性情報収集	4,500,000
8		IUCN日本委員会事務局運営	200,000
合 計			105,200,000

注4. 助成事業に関して、以下の4業務で1,030万円の実施を計画しており、かかる予算を「助成金収入」および「保護プロジェクト事業費」「保全研究事業費」に計上しています。

	事業	仮業務名（申請予定先）	予定額
1	保護	AKAYA プロジェクト・渓流環境復元モニタリング研究（自然保護助成基金）	1,500,000
2		小笠原プロジェクト・ジオエコタイプ（GET）区分解析（自然保護助成基金）	2,500,000
3	研究	綾照葉樹林プロジェクト（三井物産助成・申請中）	2,500,000
4		国際自然保護研究（地球環境基金・申請中）	3,800,000
合 計			10,300,000

注5. 役職員にかかる総人件費予算は、約1億4,645万円（退職給付引当資産の積立を除く）ですが、そのうち事業部門に関わる役職員の人件費1億213万円は、各事業費に含まれています。

注6. 特定資産の積立・活用計画は、次のとおりです。

特定資産	前期末残高見込	当期増加額	当期減少額	当期末残高見込
退職給付引当資産	50,800,000	5,000,000	0	55,800,000
特定用途寄付積立資産	4,870,000	0	4,870,000	0
事業実施積立資産	27,480,000	0	23,980,000	3,500,000
運営基盤整備積立資産	87,190,000	0	22,800,000	64,390,000
合 計	170,340,000	5,000,000	51,650,000	123,690,000

(1) 退職給付引当資産

一般職員の退職金の支出に備えるため、期末の自己都合退職による退職金として必要な支給金額を積み立てます。

(2) 事業実施積立預金

年毎の収支予測のみでは成り立たない中長期的かつ計画的な事業等の立案および展開に必要な資金を確保してあるもので、今年度は、以下の5業務で2,398万円の実施を計画しており、かかる支出を「保護プロジェクト事業費」「保全研究事業費」「編集事業費」「教育普及事業費」に計上しています。

	事業	業務名	金額
1	保護	実施期間が前期から今期にわたっている助成業務の今期支出分 AKAYA プロジェクト「赤谷の森」環境教育拠点形成の構想準備 (2カ年計画2年目) / アクセンチュア(株)	8,480,000
2		小笠原プロジェクト「環境(ジオエコタイプ・GET)区分解 析による保全管理の提案」	5,000,000
3	研究	実施期間が前期から今期にわたっている助成業務の今期支出分 市民参加の「人と自然とのかかわり調査」手法の開発とデータ ベースの構築(三井物産環境基金)	5,000,000
4	編集	2010年 生物多様性出版企画準備	500,000
5	普及	自然観察指導員養成30周年記念企画(2カ年計画1年目)	5,000,000
		合計	23,980,000

(3) 運営基盤整備積立資産

組織運営体制の再編成・整備および業務効率化のための投資等に必要な資金を確保してあるもので、今年度は以下の12業務で2,280万円の実施を計画しており、かかる支出を「保護プロジェクト事業費」「保全研究事業費」「編集事業費」「教育普及事業費」「会員事業費」「管理費支出/給与手当」「管理費支出/基盤整備費」に計上しています。

	事業	業務名	金額
1	保護	AKAYA プロジェクト「赤谷の森」環境教育拠点形成の構想準備 (5カ年計画2年目)	2,000,000
2	研究	SISPA(戦略的保全地域情報システム)の構築と活用(3カ年計画2年 目)	10,000,000
3	編集	広報機能強化のためのWeb基盤構築(3カ年計画2年目)	1,500,000
4		NACS-Jのオリジナリティーを活かせるWeb運用(3カ年計画2年目)	1,000,000
5	普及	自然観察指導員講習会の「案内リーフレット」および「ポスター」の 制作・配布	1,500,000
6		個人会員の「入会案内リーフレット」および「パネル」の制作	1,000,000
7	会員	会報の電子データ化	500,000
8		会費領収書発送システム整備	300,000
9	管理	公益法人改革への対応	1,000,000
10		情報管理体制の整備	200,000
11		労務・人事諸規定の見直し	1,000,000
12		事務局運営のための備品購入	2,800,000
		合計	22,800,000

注7. 基本財産の運用に関して、投資有価証券のうち1億4,500万円が償還を迎えるため、資産運用方針にもとづき、投資有価証券を再購入する計画です。

注8. 特定資産の運用に関して、投資有価証券のうち「退職給付引当資産」が2,000万円、「運営基盤整備積立資産」が2,500万円、「その他固定資産」が700万円償還を迎えるため、資産運用方針にもとづき、投資有価証券を再購入する計画です。

以上